

施策 No. 1 切れ目のない子育て支援の推進

めざす暮らしの姿	現状
<p>1. 妊娠・出産・子育ての支援の充実を図ることにより、妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。</p> <p>(まちづくりの目標) 目標 1 未来への育ちを誰もが実感できるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化等により地域のつながりの希薄化が進み、子育てに負担や不安を感じる保護者が増えるとともに、子育てに関する相談件数が増加しています。 子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、保健師・助産師等の専門職が適宜相談対応するとともに、妊産婦や乳幼児等の状況に応じて適切な支援を行う、母子保健におけるポピュレーション・アプローチと子育て支援の連携体制を整備しました。
<p>2. 保護者が子どもや子育てに関して、身近にいつでも悩みや不安を相談できる場所があります。</p> <p>(まちづくりの目標) 目標 1 未来への育ちを誰もが実感できるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援拠点の拡充を図り、身近なところで気軽に相談ができ、子育て家庭が交流できる場の充実を図っています。
<p>3. 地域全体で子育て家庭を見守り支援をすることで、家庭環境に関わらず、すべての子どもの子どもの権利が守られ、心身ともに健やかに育つ環境が整っています。</p> <p>(まちづくりの目標) 目標 1 未来への育ちを誰もが実感できるまち 目標 5 つながりを持ち自分らしさが実現できるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て総合支援ネットワークセンターみらいを子ども家庭総合支援拠点として整備し、市民に身近な基礎自治体として、児童虐待への対応において継続的な在宅支援を行うための体制を充実しました。 母子保健事業の推進や要保護児童対策地域協議会を通じた関係機関の連携により児童虐待の早期発見と対応に取り組むことで、特定妊婦・要支援・要保護児童の把握が進み、児童虐待の相談・通告件数が増加している。

課題	基本方針
<ul style="list-style-type: none"> 地域や関係機関と連携し、各家庭の状況に応じた事業の利用支援や相談支援に取り組み、よりきめ細かな対応、寄り添い型の支援体制を整備し、切れ目のない支援を充実することが課題です。 	<p>① 八尾市で子どもを生み育てて良かったと実感できるまちをめざし、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実を図るため、市民から見てわかりやすい情報提供や相談体制の整備を進めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子育て家庭のニーズ等を踏まえながら、身近な相談の場である地域子育て支援拠点等を充実するとともに、それらを利用・参加しやすい環境を整備することが課題です。 	<p>② 身近な地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て家庭をめぐる環境の変化やニーズの変化に配慮しながら、地域子育て支援拠点の運営をはじめとした在宅子育て支援施策を展開します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き体制の充実と人材育成に努め、関係機関の相互連携により対応力を高めていくことが課題です。 	<p>③ 児童虐待の早期発見や早期の適切な対応を行うため、引き続き子育て包括支援センターにおけるポピュレーション・アプローチにより全ての児童状況の把握に努めるとともに、児童の状態等に応じたハイリスク・アプローチ体制を充実し、要保護児童対策地域協議会の関係機関等の相互連携によるソーシャルワーク機能を強化します。</p>

関連計画	健康日本 21 八尾計画及び八尾市食育推進計画 八尾市こどもいきいき未来計画
------	---